

市議会だより

いちき 串本野



照島海岸からドローンで撮影（高度約 70m）〈撮影者〉中村 享さん

No.89

2022.11.7

9月定例会（8月29日～9月20日）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| ○8人の議員が市政を問う・・・P2～6 | ○議会活性化市民アンケート・・・P7～10 |
| ○補正予算審査・・・P11・12 | ○条例の制定・改正、その他・・・P13・14 |
| ○請願の採択・意見書の提出・・・P15 | ○表決結果・・・P16 |
| ○写真の紹介・議会の動き・・・P17 | ○12月定例会日程案・・・P18 |

いちき串木野市政の ここが知りたい!!

一般 質問

一般質問とは、議員が市の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、所信の表明を求めるもので、政策論争が行われています。



9月定例会の一般質問では、市政について8人の議員が18項目の質問をしました。質問・答弁の内容(3~6ページ)は、議員本人が要約しています。

※9月定例会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を**通常45分 → 30分**に短縮しています。(市当局からの答弁時間は含みません。)

9月6日 (火)

ひがし いくよ
東 育代 議員 (P3)

1. 不登校児童・生徒への支援と対策について
2. タブレット端末の有効利用について

なかむら としひこ
中村 敏彦 議員 (P3)

1. 人口減少対策について
2. 消防力強化について

まつさき みきお
松崎 幹夫 議員 (P4)

1. 戦没者を追悼し平和を祈念する式を終えて
2. 小・中学校再編及び統廃合計画について
3. 学校施設の改修について

えぐち よしこ
江口 祥子 議員 (P4)

1. 環境政策について

9月7日 (水)

なかさと すみと
中里 純人 議員 (P5)

1. 子どもの貧困と教育について
2. コロナ禍でのレジャー施設について

たかぎ しょうじ
高木 章次 議員 (P5)

1. 電源立地地域対策交付金について
2. 安定ヨウ素剤の事前配布について
3. 洋上風力発電について

よしどめ りょうぞう
吉留 良三 議員 (P6)

1. 食料自給率の引き上げについて
2. 山林の整備について
3. 墓のあり方について

ふくだ きよひろ
福田 清宏 議員 (P6)

1. 串木野西中学校について
2. 上水道事業について

※一般質問の様子は、市のホームページで公開しています。視聴はこちらから ⇒





東 育代
議員



[映像配信]

不登校児童・生徒への支援策は 課題を整理し新たな一手を検討

問 全国の小・中学校で不登校児童生徒数は前年より増加しているが、本市の現状はどうか。

答 不登校児童生徒数は、令和2年度52人、令和3年度62人と増加している。令和3年度の新規不登校の割合は46.8%、年度をまたぎ不登校が継続している児童生徒の割合は53.2%である。

問 「不登校兆候のある早期段階で、校内に安心できる場所や個別の学習支援、相談支援を行うことができれば、学習意欲の回復も期待できる」と国は校内教育支援センター

(校内フリースクール)の設置を求めているが、本市はどうか。

答 手厚いサポートが可能となるが、専任教員やスタッフの加配の配置等がない状況では、運営上の課題が大きい。各学校では空きスペースを確保し、教育支援センター等の各関係機関と連携を図り、支援体制の充実に努めている。

問 誰ひとり取り残さない教育環境の整備、不登校ゼロを目指しての取組が望まれる。不登校の児童生徒が多い本市としては、支援と対策が急務であるように思われるが、いかがか。

答 どこに課題があるのか、改善に向けての視点を整理し、新たな一手、違う方面からのアプローチを検討する。

タブレットの有効利用は 非常時にオンライン授業を

問 国は学びの場を保障するためタブレットを持ち帰る体制整備を求めているが、本市の現状と今後の方向性を伺う。

答 現在、児童生徒はタブレットを持ち帰らせる事ができるようになっている。今後は、学校の実情に応じて持ち帰り学習やオンライン授業の準備を進めていく。

問 文部科学省は、オンラインで対応する「不登校児童生徒支援センター」の設置を提案しているが、市教育支援センター内に設置はできないか伺う。

答 学校と連携を図りながら研究して、子どもたちの要望に応えられるよう計画を推進していく。



中村 敏彦
議員



[映像配信]

人口減少社会への対策 市民満足度第一で検討

問 国・県より厳しい少子化・人口減少が続く本市の現状認識と対策を伺う。

答 少子化は経済や社会保障制度、労働力不足などが懸念され「静かな有事」ともいわれる。結婚し子どもを産み育て、住み続けられるための市民満足度を上げる施策を実施したい。

問 第二次総合戦略での、若者の流出が多い原因として「公園・スポーツ・レジャー施設が整っていない」というアンケートの分析結果は「6割が住みにくい国」と答えた内

閣府の国際意識調査と符合し、特に長崎鼻公園整備は急ぐべきと思うが進ちょく状況はどうか。

答 アンケートをもとに、全世代型の複数ゾーニングを基本構想に盛り込み、設計・整備・運営までの民間資金活用を検討しており、早急な整備に向けて取り組んでいきたい。

問 公園の全体像の中に、景観を損ねることが懸念される近くの危険廃屋の活用やホテルアクシアへのキッズボルダリング設置など検討できないか伺う。

答 それぞれの近隣施設の有効活用も検討課題としたい。

問 求人倍率2倍という好条件を生かすための基本は、九州3紙の合同調査で示された「低い賃金・労働条件」の改善が必須。その上で、他市から本市へ通勤・通学されている方への移住・定住策のPRや、本市で生まれ育った世代への就職支

援策を充実させることで、効果が期待できるのではないかと。

答 働く場の確保のための企業誘致と、4,658人の流入人口や若い世代が安心して働ける雇用環境の創出や環境整備に取り組みたい。

コロナ禍での救急負担は 出動件数は増加傾向

問 報道でコロナ禍による救急隊員の負担が増しているようだが、本市でも7月は例年の1.5倍の出動があったと聞かすが、本市の状況はどうか。また、職員の増員及び女性消防士の採用、消防庁舎建設の計画について伺う。

答 出動件数は増加傾向で、防護服着用や救急車消毒など通常より時間を要しているが、充分に対応できている。職員定数は再任用等でカバーし、庁舎整備は分遣所統合と合わせて検討。女性消防士の採用は役割等を検討したい。



松崎 幹夫
議員



[映像配信]

戦没者を追悼し平和を祈念する式 平和への思いをしっかりと受け継ぐ

問 式では語り継ぐビデオ上映や高校生のスピーチが好評であったが、今後の取組について伺う。

答 市来地域の戦争を語り継ぐ会とも連携して、市来地域での戦争・戦火に係る出来事や資料を収集し、ビデオの内容をさらに充実するとともに、平和への思いを次世代に受け継ぐ。

問 各小・中学校での取組として、子ども達にビデオ視聴ができるか伺う。

答 各小・中学校に配布して、総合的学習等の中で平和学習の

資料として活用する。

小・中学校再編計画は 学校の現状を踏まえ早急に協議

問 本市の児童生徒が著しく減少していくが、再編計画を早急に進めるべきだが、どのような計画で進めるか伺う。

答 小・中学校における望ましい学校形態も勘案しながら、どのような枠組みにしたほうがより良い教育環境を保てるのか、再編の時期も併せて慎重に検討を進めている。学校の現状を踏まえ、早急に協議を進める。

問 再編を進める上で、保護者、地域の皆さん方への説明責任はどのように考えるか伺う。

答 保護者や地域住民等に対し、学校再編の方針案、中学校再編計画等について、説明会を実施する。

問 令和5年度から、照島小学校と市来小学校から特認校へ入学・転学を認めない方針だが、特認校に通学する兄弟がいる家庭は困るのでは。対象は何人いるのか。

答 3小学校で5世帯6人の兄弟がいる。

問 6人の未就学児は、兄弟のいる特認校に行けるのか伺う。

答 特認校児童の未就学の兄弟も現在、特認校に通学している児童が在学している間は、通学許可を申請できるように配慮したい。

老朽化により雨漏り等改修は 学校と連携を図り修繕する

問 小・中学校の校舎や体育館など、老朽化により雨漏り等改修が必要な学校はないか伺う。

答 小学校5校、中学校3校を確認している。原因の特定と工法を選定中で、早急に応急修繕を実施する。



江口 祥子
議員



[映像配信]

公共施設のLED化を 改修時期を勘案し順次進める

問 公共施設のLED化の進捗状況と今後の計画について伺う。

答 市内139施設のうち、10施設が完了、46施設は一部完了、83施設はまだ実施していない。今後は、施設の利用状況や費用対効果を把握し改修等の機会をとらえて、順次進める。

問 水銀法の改正による水銀灯の製造と輸入が禁止となったが、教育委員会所管などの施設に設置の水銀灯は何灯あるか。

答 教育委員会所管分は、学校体育館などで418灯、その他所

管分が511灯の合計929灯である。

問 公共施設のLED化は初期投資に膨大な費用が必要なため、一気に進めることは困難だが、LEDのリース契約であれば、初期費用を抑えコストを平準化できるが、本市の考えを伺う。

答 リース導入の効果として、初期コストの削減や支出の平準化が期待される。LEDの導入に当たっては、各施設の導入効果や改修時期を勘案し、他市の取組も参考にしながら進める。

マイボトル用給水機の設置は 他市の状況も参考に必要性を検討

問 循環型社会への移行が期待されるプラスチックごみの中でも、身近なペットボトルのリサイクル及びマイボトルの利用促進がごみ問題の解決に寄与するのでは。

答 マイボトルの活用は、マイバッグ運動と同様多くの市民に

取り組んでいただきやすい活動である。市でも広報紙やLINE配信等を通して、マイボトル運動の普及促進に努めていく。

問 マイボトル運動の推進及び感染症や熱中症予防のため、ボトルディスペンサー型給水機を公共施設に設置できないか。

答 市内の小・中学校や総合体育館等の公共施設では、感染症対策を講じながら、必要な場合に冷水機や水道水を利用いただいている。ボトルディスペンサー型給水機は、設置している他市の状況を参考に、必要性を検討する。



Reduce ごみの量を減らそう
Reuse 繰り返し使おう
Recycle 資源として活かそう



中里 純人
議員



[映像配信]

子どもの貧困

7人に1人

問 子どもの貧困にどう取り組むのか。

答 経済的理由で高等教育への進学を諦め、負の連鎖につながることが課題となっている。貧困状態にある世帯に対し、負の連鎖を断ち切る機会と環境を提供することは行政の責務である。地域全体で応援し、魅力ある子育て環境づくりに取り組みたい。

問 本市の小・中学生の学力学習調査の結果はどうか。

答 小6と中3の全国学力・学習状況調査の結果は全国平均と

比較すると小学校が-3.0、中学校が-0.6。鹿児島学習定着度調査は県平均以上がR1年度は14教科中2教科。R3年度は7教科。年を追うごとに学力の向上が見られる。学校間の格差はあるが、市主催の学力向上教員研修会などで指導力向上と市全体の学力向上に取り組んでいる。

問 文部科学省の近視調査やスマートフォン利用と正答率調査の結果を家庭でのルールづくりに役立てられないか。

答 近視調査は、裸眼視力0.3未満の割合が小1で1.3%、小6で21.1%、中3では31%とそれぞれ増加している。正答率は中学校でゲームを4時間以上するとしないうちは23.2ポイント違う。具体的なデータの数値を示し取り組む。

問 曾於市の小学校で樹木事故があったが、点検の結果は。専門業者による安全点検はどうか。

答 伐採等の対応が必要な学校が9学校と1幼稚園の計10校。専門の業者が樹木の伐採や遊具の修繕を実施する際、危険箇所がないか、確認してもらっている。

キャンプ施設

楽しむ方が増えている

問 本市には観音ヶ池市民の森と串木野ダムオートキャンプ場の2か所の無料施設があるが、串木野ダムオートキャンプ場の整備はどうか。

答 県の防災ダム事業による施設で、市で維持管理している。年数回の除草作業と秋口に簡易トイレを設置する。案内板等の設置を検討する。



高木 章次
議員



[映像配信]

川内原発が廃炉になると交付金は 廃止される年度まで交付

問 本市の電源立地地域対策交付金は令和2年度で約9,700万円。周辺交付金は、原発の着工年度から運転終了までなので、40年で運転が終わった段階でゼロとなる。移出交付金は、県内の発電量から県内消費量を引いた県外への電力移出量に応じて県に交付され、原発周辺自治体にも配分される。川内原発以外は小さな発電量の施設なので、川内原発が廃炉になると本市の電源立地地域対策交付金はほとんどなくなると思うが、このような理解で間違いはないか。大

幅に減額されることを前提に、来年度予算を組むべきと思うがいかがか。

答 川内原発にかかわる交付金は、廃止される年度まで交付があるものと理解。市はこの交付金を前提の事業計画を行っていない。

安定ヨウ素剤の事前配布

県に申請の要件外しを要望

問 6月議会で中屋市長は知事に対して安定ヨウ素剤の申請に要件をつけないことを求める要請をしたいとのことであったが、その結果を伺う。

答 6月議会後、県の医療福祉課に対して、安定ヨウ素剤の事前配布に当たり、一定の要件を設けず希望する全ての市民に対し配布するよう要望し、協議している。必要があれば要望書を提出する。

問 事前配布申請者数によっては、今後の配布方法をどうするべ

きか結論がでると思うが、今回申請者数を増やすため、どのような広報活動をしたのか。

答 今回から新たに市のLINEに情報を掲載。9月末には申請状況が分かるのではないかと。

洋上風力発電調査の詳しい広報を 結果がまとまり次第情報提供

問 洋上風力発電調査研究協議会を立ち上げているが、傍聴できず、広報も不十分。説明部分の映像や議事録をホームページに載せ、広報紙にもわかりやすい記事を掲載し、パンフレットの挟み込みなどもすべき。市民からの質問や意見を求めることも必要。

答 しっかりと整理をしないと情報が多過ぎても、かえって混乱するおそれもあるので、調査結果がまとまり次第、市民に広く情報提供を考えている。



吉留 良三
議員



[映像配信]

食料自給率の引上げを 業として農業を伸ばしていく

問 資材高騰や調達不安など農業の新たな状況の認識は。

答 経営がひっ迫する状況は認識している。国の制度を補完しながら堆肥助成等を行う。

問 担い手だけでは、地域農業を維持できない現状では。

答 小規模農家・中山間地が多いので、中山間地域等直接支払交付金制度などを活用し、地域の協働による効率的な作業に取り組み、保全会など営農組織化の取組や集落営農も推進している。仙人村や夢ファーム大里は先進地事例。

問 小規模でも様々な仕事を組み合わせ、食える仕組みが必要。

答 農業をやりながら、多面的機能支払交付金制度で草払い作業の賃金を得て、地域と共存の取組ができないか考えている。

問 直売所設置助成など小規模農家が意欲を持てる流通政策を。

答 市内6か所の物産館を活用してほしい。各施設とも農家からの農産物受入れについて理解をいただいている。

問 観光地をつなぐ周遊ルートを作り、総合運動公園等の利用者も野菜直売所へと誘客すべきだ。

答 観光地を周遊させるシステム作りは関係各課と協議したい。

問 農林業の持つ多面的機能強化、CO₂対策からも堆肥の活用を。

答 化学肥料高騰対策で堆肥助成制度を復活させたので活用を。

問 堆肥利用促進のため、堆肥撒き機械導入の補助等の考えは。

答 堆肥助成制度では、堆肥購入と機械散布の作業分も対象。

問 地域協同組合で共販体制など流通面を担うJAとの連携は。

答 営農指導など減っているが、共販体制など連携している。

JAや森林組合などで組織する農林技術協会でも議論し、農家支援に当たっている。



林道作業に補助制度を 市道等同様の作業報奨金検討

問 林道作業にも無償ボランティア頼みでない補助金制度を。

答 市道・農道の公民館組織による作業報奨金と同様の支給はできないか検討する。



福田 清宏
議員



[映像配信]

串木野西中学校はなくなるか 学校統廃合再編の検討対象

問 市長は串木野西中学校の生徒や保護者等から「串木野西中学校は、なくなるのですか」と問われたら、どのように答えられるか伺う。

答 「学校規模等を考慮し、学校統廃合再編の検討対象として協議をしている」と回答したい。

統合の審議はなされてきたか 統廃合基準を見直し協議進める

問 串木野西中学校は各学年1組生徒数110人で生徒数は激減している状況下であり、今日に至

るまで統合について、どのような審議がなされてきたか伺う。

答 いちき串木野市立小・中学校の統廃合基準（平成28年2月策定）に基づき、検討してきていない状況にある。しかしながら、急速に進む児童生徒の減少を考慮し、現在、学校統廃合検討会議において、小・中学校の統廃合基準を見直し、小・中学校の望ましい学校規模を設定し、それを目指すことを検討している。中学校では1学年2学級から3学級以上を望ましい学校規模とし、串木野西中学校についても再編の対象として位置づけることで協議を進めている。

4校の再編の実現は 喫緊の課題

問 生徒の部活動への心情や高校進学等々を考慮し、4校統合再編の早期実現について伺う。

答 急速に進む児童生徒の減少を踏まえ適切な教育環境を整えるためには学校統廃合再編を進めることが喫緊の課題である。

止水栓付近の漏水の修理 修理区分境界を見直す

問 止水栓付近の漏水の修理は、止水栓が道路・歩道上や敷地内にあるなしに関係なく、止水栓までは事業者が負担し、メーターからは利用者が負担することできないか伺う。

答 市負担の修理区分を敷地境界から止水栓までと見直すことで、漏水現象に伴う有収率向上が見込まれることや使用者の負担軽減が考えられる。今後は、他市の修理区分の状況や多発する止水栓付近の漏水状況に鑑み、市が負担する修理区分の境界を止水栓までと見直す。

いちき串木野市議会活性化のための 市民アンケート調査

… アンケート調査のお願い …

いちき串木野市議会では、「市民に身近な議会、頼りになる議会」を目指して、議会活性化の取組を行っており、今回、市民アンケート調査を実施することになりました。

市民の皆様からのご意見等を、議会活動及び市政に反映させていきたいと考えておりますので、ご協力方よろしく申し上げます。

なお、今回の調査では、氏名や生年月日、住所、電話番号等の個人情報に関する記入はございませんが、このアンケート調査により得られたデータや情報等については、調査結果の集計や分析・統計以外の目的には使用しません。

回答にあたってのお願い

- ①回答にあたっては、あなた自身のお考えでご記入ください。
- ②回答は、おひとり様 1回限りでお願いします。
- ③回答方法は、「アンケート用紙に記入して投函又はFAXにて回答する方法」、「スマートフォンやタブレット、パソコン等からQRコードやURLにアクセスし、オンラインで回答する方法」があります。くわしくは、裏面をご覧ください。

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ◎アンケート調査の対象 | いちき串木野市民 |
| ◎アンケート調査の期間 | 令和4年11月7日から12月9日まで |
| ◎アンケートの集計結果 | 市議会だより、市ホームページでお知らせします。 |

◎アンケート調査に関する問合せ

いちき串木野市役所 議会事務局（串木野庁舎3F）
〒896-8601
いちき串木野市昭和通133番地1
TEL 33-5648（議会直通） FAX 32-3124

【アンケートの回答方法】

1. アンケート用紙に記入して回答

- (1) 市議会だより（No.89号、11月7日発行）に折り込んであるアンケート用紙を使って、該当するところに○(マル)、又は記号(アルファベット)を記入する。

※アンケート用紙が不足する場合には、お手数ですが下記の方法で対応方お願いいたします。

- ①市議会だより折り込んであるアンケート用紙をコピーして記入。
- ②いちき串木野市ホームページ(市議会)から出力して記入。
- ③市役所(串木野庁舎・市来庁舎)及び各地区交流センターに設置してあるアンケート用紙に記入。

記入されたアンケート用紙は、下記の方法で回答できます。

- ①アンケート用紙を回収箱に投函
(回収箱は、市役所串木野庁舎、市来庁舎、各地区交流センターに設置してあります。)
(各地区交流センターが閉館中の際は、各センターの郵便ポストに投函できます。)
- ②FAX 32-3124 (市役所串木野庁舎に送信されます。)

2. スマートフォン・タブレット・パソコン等でのオンライン回答

- (1) スマートフォン・タブレット・パソコン等で、下記のQRコード又はURLにアクセスし、アンケートに回答することができます。
- (2) LINE (市公式アカウント) からURLにアクセスし、アンケートに回答することもできます。

■オンライン回答ページ
QRコード



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

■オンライン回答ページURL

<https://docs.google.com/forms/d/1h4r1PHMZDdarmPLFHJxUAsN38bnWx9joob8cMxhDpYo/edit>

◎回答期限 令和4年12月9日(金)まで

いちき串木野市議会活性化のための市民アンケート

※該当するところに○、又は解答欄にてお答えください。

1.基本事項 ※該当するところを○で囲んでください。	
1 あなたの年齢は？ (20歳未満・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代・80歳以上)	
2 あなたの性別は？ (男性 ・ 女性)	
3 あなたはどこの地区にお住まいですか？ (冠岳・生福・上名・大原・中央・本浦・野平・照島・旭・荒川・羽島・川南・川北・湊・湊町・川上)	
2.市議会からの情報について	
【問1】市議会からの情報をどのようにして知りますか。(複数回答可) A.市議会だより B.市ホームページ C.市議会の傍聴 D.直接議員から E.議員が発行する情報誌 F.知人や友人から G.その他()	回答欄
3.議員報酬について	
●議員報酬(議員281,000円、委員長290,700円、副議長304,200円、議長387,600円) 【参考】人口規模の同じ市の状況 (人口は令和4年7月末日現在) ①いちき串木野市……人口26,564人、議員報酬281,000円 ②鹿児島県伊佐市……人口24,192人、議員報酬266,000円 ③大分県杵築市……人口27,440人、議員報酬306,000円 ④高知県土佐市……人口26,427人、議員報酬310,500円	
【問2】本市の議員報酬は妥当だと思いますか。 A.妥当である B.少ない C.多い D.わからない	回答欄
【問3】あなたが議員を目指すとしたら、どの程度の報酬が必要ですか。 A.現在より少なくて良い B.現在の額(月額281,000円) C.月額30万円 D.月額35万円 E.月額40万円以上 F.その他()	回答欄
4.議員のなり手不足について	
●全国的に議員のなり手不足が問題となっており、本市の市議会議員選挙においても、定数に対して候補者が少ない状況が続いています。 【参考】いちき串木野市議会議員選挙における定数と候補者数の推移 ・2021年(令和3年)選挙……(定数16人に対し候補者17人) ・2017年(平成29年)選挙……(定数16人に対し候補者17人) ・2013年(平成25年)選挙……(定数18人に対し候補者19人) ・2009年(平成21年)選挙……(定数18人に対し候補者20人)	
【問4】議員のなり手が少ない理由や問題点、課題は何だと思いますか。(複数回答可)	
A.報酬が少ない B.議員活動に魅力がない C.育児や子育て D.介護や看護 E.家族(家庭)の理解 F.地域の支援、応援 G.健康保険や年金制度が無い H.在宅でも議会活動ができる環境整備 I.議員政治倫理条例 J.その他()	回答欄

5.女性が議員を目指せる環境づくりについて

●いちき串木野市議会の議員定数は16人です。(現在…男性14人、女性2人)

【問5】女性が市議会議員を目指すためには、何が必要で、問題点や課題は何だと思いますか。（複数回答可）

回答欄

A.報酬等の見直し B.育児(託児)や子育て C.介護や看護
D.家族(家庭)の理解 E.地域の支援、応援 F.社会の意識改革
G.健康保険や年金制度が無い H.在宅でも議会活動ができる環境整備
I.その他()

6.市議会議員の活動について

【問6】市議会議員の活動について、どう思いますか。

回答欄

A. 議員活動がよくわからない B. 精力的に活動していると思う
C. どのように接触して良いかわからない
D. 要望や意見を伝えても動いてくれない
E. その他()

【問7】どのようなことや活動を議員にしてほしいですか。

7.政務活動費について

●政務活動費（月額10,000円）

【解説】政務活動費とは…調査研究、研修、広報、広聴、陳情等のほか、各種会議への参加など、市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映するための活動等が対象になります。本市では議員個人に交付され、年度精算後、残額があった場合には返納となります。

【問8】本市の政務活動費の額は妥当だと思いますか。

回答欄

A. 妥当である B. 少ない C. 多い D. わからない

【問9】「妥当である」以外の回答の方にお聞きします。妥当でないと思う理由は何ですか。

回答欄

【理由：_____】

【問10】妥当な政務活動費の額はいくらだと思いますか。

回答欄

A. 現在より少なくて良い B. 月額1万円(現在の額) C. 月額1万5千円
D. 月額2万円 E. 月額3万円 F. 廃止してもよい

8.自由意見

※アンケートへのご協力、ありがとうございました。

★記入されたアンケート用紙は、下記の方法で回答できます。

①アンケート用紙を回収箱に投函

(回収箱は、市役所串木野庁舎、市来庁舎、各地区交流センターに設置してあります。)

(各地区交流センターが閉館中の際は、各センターの郵便ポストに投函できます。)

②FAX(32-3124、市役所串木野庁舎に送信されます)

9月定例会補正予算

尻塞川水門改修事業・小学校空調設備改修事業 など

6億8,180万3,000円 追加計上

《一般会計予算総額176億7,896万9,000円》

一般会計：歳入の主なもの

- 前年度の繰越金 5億5,175万円
- 市債の追加 6,820万円
過疎対策事業債・土地改良事業債 ほか
- 市有地の処分金 3,108万円
荒川コミュニティ広場等の市有地処分金

一般会計：歳出の主なもの

- 市債管理基金積立金 4億円
決算剰余金が生じた場合は、その1/2以上の金額を積み立てるか、地方債の繰上償還に充当しなければならないため、基金に積み立てます。
- 認知症高齢者等の見守り 33万円
位置情報アプリを活用して、徘徊者の見守り体制を構築し、認知症になっても暮らしやすい地域づくりをめざします。

利用対象者	市内に居住する徘徊・見守りSOSネットワークの登録者
利用者負担	小型タグ：無償貸与 専用靴：購入費用の1/2相当額

問 登録手続は誰でもよいのか。

答 ケアマネージャー、家族、民生委員、近隣の方でも構わない。認知症の診断がなくても、その恐れがあれば登録可能となっている。

- 地元企業への就労支援 34万円
高校生等の地元就労支援を目的に、さつま日置農協からの寄付金30万円を活用し、市内企業PR活動を行うためのモニター機器を購入します。

問 具体的な活用方法は。

答 基本的には、串木野庁舎のロビーにモニターを設置し、市民や来庁者に向けて、いちき串木野商工会議所青年部が作成する市内企業への就労PR動画を流そうと考えている。また、高校生向けの企業説明会の際などにも活用したい。

意見 先進地行政視察を行った岡山県津山市でも同様の取組があり、高校生が就職する側の視点で各企業を取材してPR動画を作ること、効果がでているようなので、検討してはどうか。

- 農業新規就農者への支援 1,016万円

農業の未来を担う新規就農者を確保・育成するため就農後の機械・施設等の導入を支援します。

補助対象者 49歳以下の認定新規就農者（2名）

- 配合飼料価格高騰対策 130万円

トウモロコシや大豆などの国際価格の上昇等による配合飼料価格の高騰により、畜産経営に及ぼす影響を緩和するため、生産者積立金の一部を支援します。

補助対象者	市内契約畜産農家 29戸
助成内容	生産者積立金1/3以内 (600円/tのうち200円/tを助成)

- 尻塞川水門の改修 2,800万円

神村学園周辺地域の浸水対策として、水門横に余水吐きを新設します。

問 改修工事の具体的な内容は。

答 水門の横に、縦2m、横5mの余水吐きを設定し、波打ち際まで約130mの水路を掘削していく。水路はコンクリート等で固めないため、今後の維持管理は、計画的な掘削作業を考えている。



(尻塞川)

●道路の舗装工事等 5,600 万

舗装工事、排水路工事、電柱移転などを行います。

【予定路線】

舗 装	島平野元線（栄町） 深田野下線（野下） 海瀬・坂下線（生福）
排水路工	戸崎線（戸崎） 西之迫線（荒川）
電柱移転	旧国道線（袴田）

●道路の交通安全対策 1,295 万円

（維持補修費）695 万円

市道の区画線の修復などを行います。

（工事費）600 万円

点滅信号撤去に伴う舗装打換やガードレールの設置などを行います。

【予定路線】

交差点改良	山手線（陣ヶ迫） 旧国道線（酔之尾東） 二の丸線（松原）
ガードレール設置	萩元線（羽島）

問 山手線の陣ヶ迫の交差点も非常に事故が多く、今回、点滅信号の撤去に至ったが、警察や公安委員会とはどのような協議がなされたのか。

答 道路管理者と地元の代表の方々も一緒に立ち会いをして、事故原因を調べたところ、地形上、高いところに交差点があり、信号の見落としの事例もあった。一灯式信号は、事故も多い傾向にあることから、一旦停止の規制に移行していく流れである。それについては、公安委員会が地元との協議を行い実施していく。

●公園の維持管理 559 万円

都市公園の遊具等の修繕、高木伐採、トイレの修繕や手すりの設置などを行います。



●消防団救助能力向上資機材緊急整備 211 万円

災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、トランシーバーや AED の救助等資機材を整備します。



●新型コロナウイルス感染症 対策時短要請協力金 1,014 万円

令和 4 年 1 月 27 日から 3 月 6 日までの間、コロナの感染拡大防止策として県の要請に応じ、営業時間短縮に協力した飲食店に対して、県から支給された協力金のうち、市の負担分（1/10）を支払います。

●教育支援センターへの情報機器の整備 150 万円

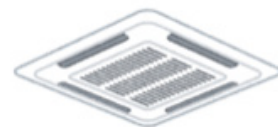
教育支援センターにおける ICT 教育環境を整えるため、児童生徒用のタブレット端末 15 台及び電源キャビネットを整備し、現在教育支援センターを利用している児童生徒がタブレット端末を利用して学習できる環境を整備します。

問 この支援センターに整備されたタブレットを使って、学校側とネットワークをつないで教育をするような計画があるのか。

答 当面は、教科書準拠のデジタル教材ドリルを用いた学習や、調べ学習等を考えている。支援員の ICT 機器活用の研修を進めていくことで、今後は、オンライン授業も可能になるのではないかと考えている。

●小学校空調設備の改修 1,300 万円

平成 11 年度建設以来 23 年が経過し、経年劣化により故障した串木野小学校の図書室 5 台とパソコン室 4 台の埋込式の空調設備を取り替えます。



特 別 会 計

●国民健康保険特別会計 613 万円

- ・国保事業報告システム改修経費
- ・県支出金返還金

●介護保険特別会計 1 億 1,424 万円

- ・介護保険システム改修経費
- ・国庫・県支出金・支払基金交付金・一般会計繰入金返還金

●後期高齢者医療特別会計 237 万円

- ・後期高齢者医療広域連合納付金
- ・一般会計繰入金返還金

条例の制定・改正、その他

市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、人事院規則の改正に準じ改正する。

【改正内容】

・育児休業の取得回数の変更

(子の出生後8週間以内の産後パパ育休)

区分	改正前	改正後
回数	1回取得可能(原則)	分割して2回取得可能(原則)

・非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和

取得要件	勤務日が週3日以上 又は1年間の勤務日が121日以上など
取得期間	子が1歳に達する日まで (特に必要と認められる場合は2歳まで)

- ・育児休業の取得手続の簡素化
- ・勤務環境整備の措置 ほか

高規格救急自動車の購入

市消防本部の高規格救急自動車1台を購入する。

購入価格 26,950,000 円

契約者 鹿児島トヨタ自動車株式会社
代表取締役 市坪 文夫

問 前回に比べて、購入価格が安い理由は。

答 今まで救急資機材は車両の更新と合わせて一括更新していたが、今回は、各医療機器のサポート期間や使用頻度の実情を勘案し、個別更新にした。



(高規格救急自動車) ※写真と同じモデルのもの

消防ポンプ自動車(CD-I型)の購入

市消防団湊分団の消防ポンプ自動車1台を購入する。

購入価格 23,870,000 円

契約者 鹿児島森田ポンプ株式会社
代表取締役 尾曲 昭二



(消防ポンプ自動車) ※写真と同じモデルのもの

農村交流施設条例の一部改正

原子力事業所災害対策支援拠点(後方支援拠点)候補地として九州電力株式会社に譲渡するため、荒川コミュニティ広場の廃止に伴い、市農村交流施設条例の一部を改正する。

【改正内容】 荒川コミュニティ広場の廃止



(荒川コミュニティ広場)

問 広場は、今後どのような使い方をされるのか。

答 管理については、九州電力株式会社が行うが、地域住民は、これまでどおり公園として利用することは可能である。また、後方支援拠点として、プレハブ小屋2棟の設置とヘリポートの整備をしたいと聞いている。

土地の売払いについて

荒川コミュニティ広場の土地を売り払います。

所在地 いちき串木野市荒川 3349 番外 26 筆
面積 14,501m²
売払い金額 31,087,256 円
契約者 九州電力株式会社 執行役員
川内原子力総合事務所長 川江 隆文
売払い条件 購入した土地は、原子力事業所災害
対策支援拠点（後方支援拠点）候
補地として使用すること

財産の無償譲渡について

荒川コミュニティ広場の物件を無償譲渡します。

譲渡物件 トイレ（鉄筋コンクリート造）
東屋（木造）
譲渡先 九州電力株式会社 執行役員
川内原子力総合事務所長 川江 隆文
譲渡時期 令和 4 年 11 月 1 日
譲渡の条件 トイレを令和 17 年 3 月 31 日まで
指定の用途として使用すること



（東屋）



（トイレ）

補償金返還請求の訴えの提起

都心平江線道路改良事業における庭石等の移転に係る契約において、契約の相手方が土地所有者による立入りの条件等から移転を完了せず、債務不履行による前払金の返還に応じないことから、補償金返還請求の訴えを提起する。

（契約の相手方とは、令和 2 年 6 月 29 日に移転期限を令和 3 年 3 月 31 日までとして契約、あわせて、

庭石等を移転する際に、土地の立入りの条件等、土地の所有者との協議に考慮して、移転期限延長の覚書を締結。）

問 覚書には、移転期日が明記されていないので期限については、お互いに認識の違いがあるのではないかな。

答 訴訟になれば、移転期日が争点の一つになるのではとの見解もあるが、社会通念上一切の期限がない覚書という想定はしにくい。市としては、繰越予算の執行期限である令和 4 年 3 月 31 日を一つの区切りとして考えている。

問 しっかり政治判断をして、裁判や収用手续等々をしながら前に進まない、解決のめどが見つからないのでは。

答 公共工事を実施するには、適正な補償基準を使って進めることが、公平性を踏まえるうえでも基本と思っている。このような状況を前に進めるためにも、収用や裁判を早期に判断し、進めていきたい。

市教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、1 人の委員を選任します。

（委員の任期は 4 年間）

氏 名

國料 修兵 氏（上名）

《 継続審査とした陳情 … 3 件 》

■【令和 3 年 陳情第 3 号】

小原台地高台付近における新たな避難場所の整備に関する陳情

■【令和 4 年 陳情第 1 号】

分煙環境整備に関する陳情

■【令和 4 年 陳情第 2 号】

川内原発の運転期間を 20 年延長しないことを求める陳情



1 件の請願を採択、意見書を提出

【請願第3号】

地方財政の充実・強化を求める請願

- 提出者 上迫田 守 氏（いちき串木野市別府）
- 提出日 令和 4 年 8 月 22 日

【請願趣旨】

いま、地方公共団体は、急激な少子・高齢化の進展にともなう子育て、医療・介護など社会保障制度の整備、また、人口減少下における地域活性化対策、脱炭素化をめざした環境対策、行政のデジタル化推進、新型コロナウイルスや近年多発している大規模災害への対応など、極めて多岐にわたる役割が求められており、これらに対応するための地方財政について、政府は「骨太方針 2021」において、2021 年度の地方一般財源水準を 2024 年度まで確保するとしているが、それをもって増大する行政需要に十分対応し得るのか大きな不安が残されている。

このため、2023 年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すことが重要な課題である。

請願を全会一致で採択
意見書を提出



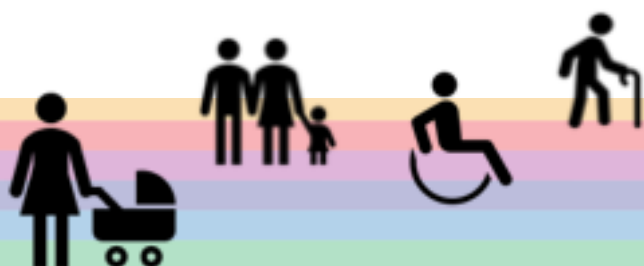
提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・
財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣・
内閣府特命担当大臣（地方創生）・
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

地方財政の充実・強化を求める意見書

【要請内容】

1. 社会保障、防災、環境、地域交通、人口減少、デジタル化対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源の確保を図ること。
2. 子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充を図ること。また、これら分野の人材確保のための自治体の取組を支える財源措置を講じること。
3. 新型コロナウイルス対策として、ワクチン接種体制の確保、感染症対応業務のみに限定しない保健所の体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス対策事業、さらには地域経済の活性化まで踏まえた十分な財源措置を図ること。
4. 自治体情報システムの標準化に向け、地域デジタル社会推進費に相当する財源を継続して確保すること。また、デジタル化が定着していく過渡期において生じる行政需要についても人材・財源を含めた対応を行うこと。
5. 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている 1 兆円については、持続可能な地域社会の維持・発展に向けて恒久的な財源とすること。また、引き続き同規模の財源確保はもとより、拡充を含めて検討すること。
6. 2020 年度から始まった会計年度任用職員制度においては、今後も当該職員の処遇改善が求められることから、引き続き所要額の調査を行い、財政需要を十分に満たすこと。
7. 地方交付税の法定率を引き上げるなど、引き続き、臨時財政対策債に頼らない地方財政の確立に取り組むこと。なお、地域間の財源偏在性の是正においては、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な改善を行うこと。また、コロナ禍対策として実施された固定資産税の軽減措置については、地方の財政運営の予見性を損なうことから、2022 年度をもって終了し、今後、税制度の変更等を検討する際は、地方団体の意見を考慮し慎重に行うこと。
8. 特別交付税の配分に当たり、諸手当の支給水準が、国の基準を超えている自治体に対する減額措置を行わないこと。
9. 森林環境譲与税については、より林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう、その譲与基準を見直すこと。
10. 地方交付税の財源保障機能・財源調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了への対応や小規模自治体に配慮した段階補正の強化など、対策を講じること。



9月定例会の表決結果

議案番号	議 案 の 件 名	議 決 結 果	
議案第 39 号	いちき串木野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第 40 号	高規格救急自動車の購入について	可 決	全会一致
議案第 41 号	消防ポンプ自動車（CD-I型）の購入について	可 決	全会一致
議案第 42 号	いちき串木野市農村交流施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第 43 号	土地の売払いについて（荒川コミュニティ広場）	可 決	全会一致
議案第 44 号	財産の無償譲渡について（荒川コミュニティ広場のトイレ・東屋）	可 決	全会一致
議案第 45 号	補償金返還請求の訴えの提起について （都心平江線道路改良事業における補償金返還請求）	可 決	賛成多数
議案第 54 号	いちき串木野市教育委員会委員の任命について	同 意	賛成多数
予算議案第 4 号	令和 4 年度いちき串木野市一般会計補正予算（第 4 号） （尻塞川水門改修事業・小学校空調設備改修事業ほか）	原案可決	全会一致
予算議案第 5 号	令和 4 年度いちき串木野市一般会計補正予算（第 5 号） （都心平江線に係る訴訟のための顧問弁護士委託料）	原案可決	全会一致
国 特 予 算 議 案 第 2 号	令和 4 年度いちき串木野市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	全会一致
介 特 予 算 議 案 第 2 号	令和 4 年度いちき串木野市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	全会一致
後 特 予 算 議 案 第 2 号	令和 4 年度いちき串木野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	全会一致
請願第 3 号	地方財政の充実・強化を求める請願	採 択	全会一致
意見書案第 3 号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致

■ 賛否が分かれた議案 ○は賛成、●は反対 * 議長職のため表決に参加しない

議案番号	(議員氏名) (議案名)	西田	田畑	高木	江口	吉留	松崎	田中	中村	大八	東	中里	竹之内	下	原	福	濱
		憲智	和彦	章次	祥子	良三	幹夫	和矢	敏彦	野一美	育代	純人	勉	良信	政敏	清宏	尚
議案第 45 号	補償金返還請求の訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	*

表紙写真に応募いただいた 写真を紹介します！

【七夕踊】



〈撮影者〉児玉 剛さん 〈撮影場所〉大里

【七夕踊】



〈撮影者〉田畑 博識さん 〈撮影場所〉大里（門前）

市来の七夕踊は、現在の規模で開催するのは今年が最後ということもあり、たくさんの応募をいただきました。今回の応募は、8人13点でした。ほかにも、いちき串木野市の魅力がつまった素敵な写真をご応募くださりありがとうございました。

民生委員・児童委員との意見交換会

10月12日に、いちきアクアホールで民生委員・児童委員協議会との意見交換会を開催しました。新型コロナウイルスの影響により、団体との意見交換会は3年ぶりの開催となりました。民生委員・児童委員71人の参加があり、活動内容や、多様化する地域の福祉問題の現状や課題などについて、貴重なご意見を聞くことができました。ご意見等は、今後の議会活動に活かしてまいります。



議会の動き（令和4年8月～10月）

【 8 月 】

- 9日 議会広報特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 議員研修会（タブレット研修）
議員全員協議会
議会広報特別委員会
- 22日 第6回議会活性化推進特別委員会
- 25日 議会運営委員会
- 29日 議員全員協議会
本会議（開会日・議案質疑）

【 9 月 】

- 6日 一般質問（7日まで）
- 8日 常任委員会（総務厚生委員会）
- 9日 常任委員会（産業教育委員会）
- 15日 議会運営委員会

20日

- 議員全員協議会
本会議（最終日）
決算審査特別委員会
議会広報特別委員会
第6回タブレット活用推進委員会

【 10 月 】

- 4日 第7回議会活性化推進特別委員会
- 5日 議会広報特別委員会
- 12日 民生委員・児童委員との意見交換会
- 18日 決算審査特別委員会（21日まで）
議会広報特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 議員全員協議会
- 21日 総務厚生委員会
- 26日 産業教育委員会行政視察（28日まで）

令和4年第6回(12月) 定例会の日程(案)

第6回(12月)定例会を下記の日程で行います。
※今後の状況により、変更になることもあります。

月 日 (曜日)	内 容
11月30日(水)	本会議 (開会日・議案質疑)
12月8日(木)	一般質問
12月9日(金)	一般質問
12月12日(月)	常任委員会 (総務厚生委員会)
12月13日(火)	常任委員会 (産業教育委員会)
12月22日(木)	本会議(最終日)

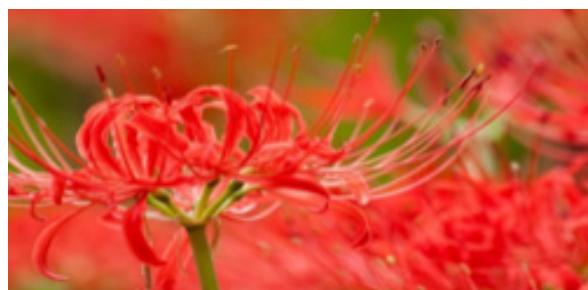
(注) 時間はいずれも午前10時からです。

決算審査特別委員会 の設置について

令和3年度会計決算認定議案が提出されたに伴い、9月20日に濱田議長・竹之内監査委員を除く14名で決算審査特別委員会を設置しました。

松崎委員長と中里副委員長を選任し、10月18日から21日までの4日間、現地・書類審査を行いました。

審査結果は、12月の定例会開会日に委員長報告を行います。



議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会等は、原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴できます。
(傍聴の際には、マスク着用をお願いします。)

本会議の様子は、市のホームページでも生中継でご覧できます。

◆本会議中継はこちらから ➡



表紙写真募集!

次号(新年号)の表紙写真を募集します。応募期限は11月30日まで。

※詳しくは市のホームページをご覧ください。Q 議会だより 検索

★応募はこちら ➡

編集後記

新型コロナウイルスは、瞬く間に“七つの海”を股にかけ感染拡大し、日本では発生から僅か3年で“7つの波”が押し寄せ、社会や経済に大きな悪影響を与えました。
一刻も早く7波が消波し、3密が解放され、市民の皆さまと議会が“密”な関係となり、民意が政策に反映するよう全議員努めて参ります。
(田畑 和彦)

議会広報特別委員会

委員長	東	育	代
副委員長	江	口	祥
委員	西	田	憲
〃	田	畑	和
〃	高	木	章
〃	田	中	和
			智
			彦
			次
			矢